

埼玉県内新卒者採用状況調査

新卒者の採用は「計画有り」が前年度を上回る54.9%、採用

2024年度の新卒者の採用状況について、県内企業へのアンケート調査を実施した。

✓ 採用計画の有無

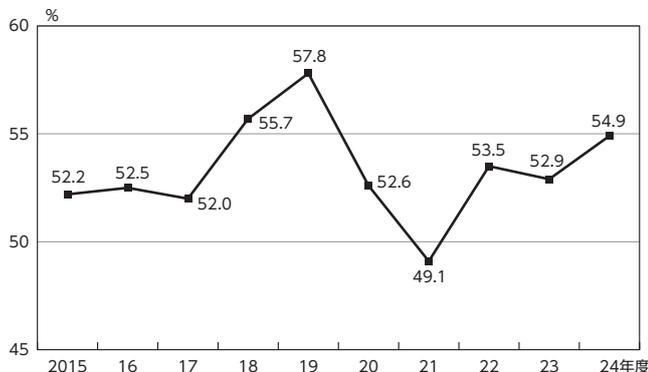
2024年4月入社の新卒者について、採用計画が「有った」企業の割合は54.9%（前年度比+2.0ポイント）となった。採用計画が「有った」企業割合は前年度を上回り、県内企業の新卒者への採用意欲は高いものとなっている。

新卒者の採用計画が「有った」とする企業はコロナ禍の2021年に5割を割ったが、翌年の2022年以降は回復し、3年連続で5割を超える水準での推移となった。

業種別にみると、採用計画の「有った」企業の割合は製造業56.1%（前年度比▲0.6ポイント）、非製造業54.3%（同+3.8ポイント）となった。両業種ともに採用計画が「有った」企業の割合は5割を超えている。

個別業種毎にみると、採用計画が「有った」企業の割合は、「建設業」が97.6%と特に多かった。「建設業」は本年4月からの時間外労働の規制強化に伴って人手不足に一層、拍車がかかることが懸念されており、新卒者の採用を積極的に計画したとみられる。

● 採用計画が「有った」企業割合の推移



✓ 採用計画人数の前年度比増減

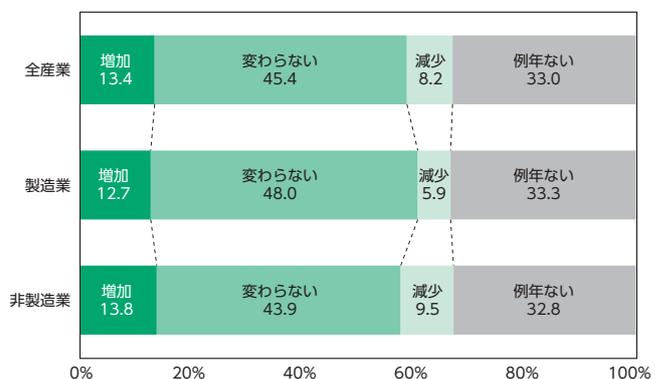
新卒者の採用計画人数は、前年度に比べ「増加」した企業の割合が13.4%（前年度比▲6.9ポイント）、「変わらない」45.4%（同+12.1ポイント）、「減少」8.2%

（同▲5.1ポイント）、「例年ない」33.0%（同±0.0ポイント）となった。「採用計画が有った」とする企業割合は前年度より増えたが、「採用計画人数」の増減については「増加」が2年連続で減った。

「増加」が減った背景には人手不足のなか、採用が難しくなっている新卒者に替えて中途採用や人材派遣の利用など採用方法を多様化する企業が増えていることがあるとみられる。

業種別にみると、製造業は「増加」12.7%（前年度比▲12.1ポイント）、「変わらない」48.0%（同+10.8ポイント）、「減少」5.9%（同▲4.0ポイント）、「例年ない」33.3%（同+5.2ポイント）となり、非製造業は「増加」13.8%（同▲3.7ポイント）、「変わらない」43.9%（同+13.0ポイント）、「減少」9.5%（同▲6.0ポイント）、「例年ない」32.8%（同▲3.3ポイント）となった。両業種ともに前年度に比べ「増加」は減ったが、その減少幅は製造業で大きいものとなった。

● 採用計画人数の前年度比増減



✓ 採用計画人数が増加した理由

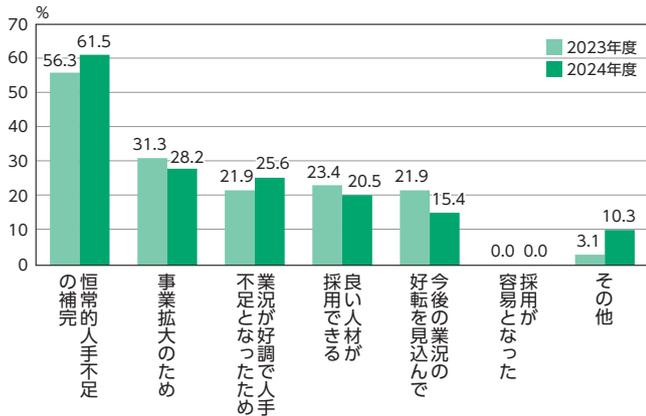
新卒者の採用計画人数が「増加」した企業においてその理由は（複数回答）、「恒常的人手不足の補完」が61.5%（前年度比+5.2ポイント）で最も多く、以下「事業拡大のため」28.2%（同▲3.1ポイント）、「業況が好調で人手不足となったため」25.6%（同+3.7ポイント）、「良い人材が採用できる」20.5%（同▲2.9ポイント）、「今後の業況の好転を見込んで」15.4%（同▲6.5ポイ

実績は「不足」が半数以上

ント)と続いた。

「恒常的人手不足の補完」、「業況が好調で人手不足となったため」が前年度より増えており、人手不足から新卒者の採用計画人数を増やす企業が増えている。

●採用計画人数が増加した理由

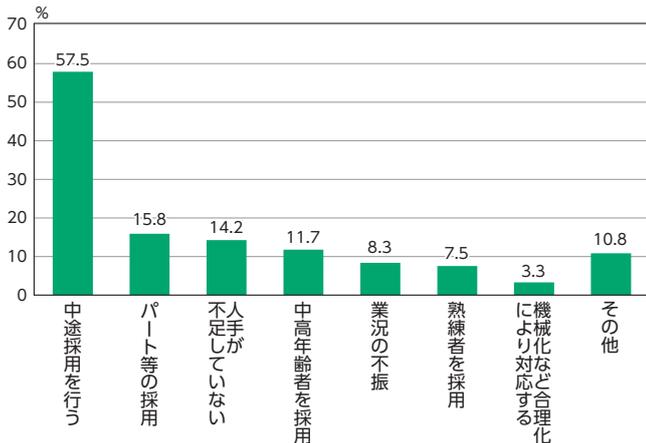


✓採用計画人数が減少または例年ない理由

新卒者の採用計画人数が「減少または例年ない」理由は(複数回答)、「中途採用を行う」が57.5%で最も多く、次いで「パート等の採用」15.8%、「人手が不足していない」14.2%と続いた。

採用計画人数が「減少または例年ない」理由として6割近くが「中途採用を行う」を挙げている。昨今の新卒者採用が売り手市場といわれるなか、企業は、確保に苦慮する新卒者に替えて、豊かな経験や知識、また即戦力となるスキルを持った人材を途中で採用するこ

●採用計画人数が減少または例年ない理由



とで人材不足を補っているところが多い。

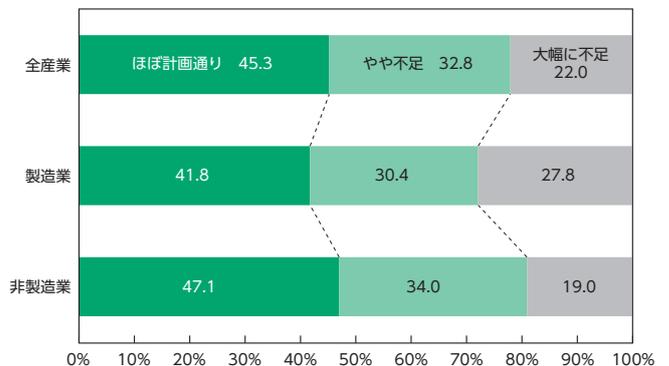
(今年度の調査では、設問「減少または例年ない理由」に対する回答の選択肢に変更を加えたため、前年度との比較は行っていない。)

✓計画に対する採用の実績

新卒者の採用計画に対する実績は「ほぼ計画通り」とする企業の割合が45.3% (前年度比▲3.1ポイント)、「やや不足」32.8% (同+0.7ポイント)と、「大幅に不足」22.0% (同+2.5ポイント)を合わせた「不足」は54.8%で、半数以上の県内企業で新卒者の採用計画人数を充足できない状況となっている。

業種別にみると、製造業は「不足」が58.2% (同+8.7ポイント)、非製造業は「不足」が53.0% (同±0ポイント)となった。

●計画に対する採用の実績



✓来年度の採用計画

来年度(2025年4月入社)の新卒者の採用計画人数は、今年度より「増加」する企業の割合が24.1%、「変わらない」49.8%、「減少」3.1%、「未定」23.1%となった。現段階では「未定」とするところが多いため不確定な要素もあるが、「増加」が「減少」を大幅に上回っていることから、来年度の新卒者への企業の採用姿勢は積極的なものになると見込まれる。(辻 和)

2024年4月実施。対象企業数1,017社、
回答企業数306社、回答率30.1%。